

広報

にしわが

第18号

平成19年
4月号
今月の内容

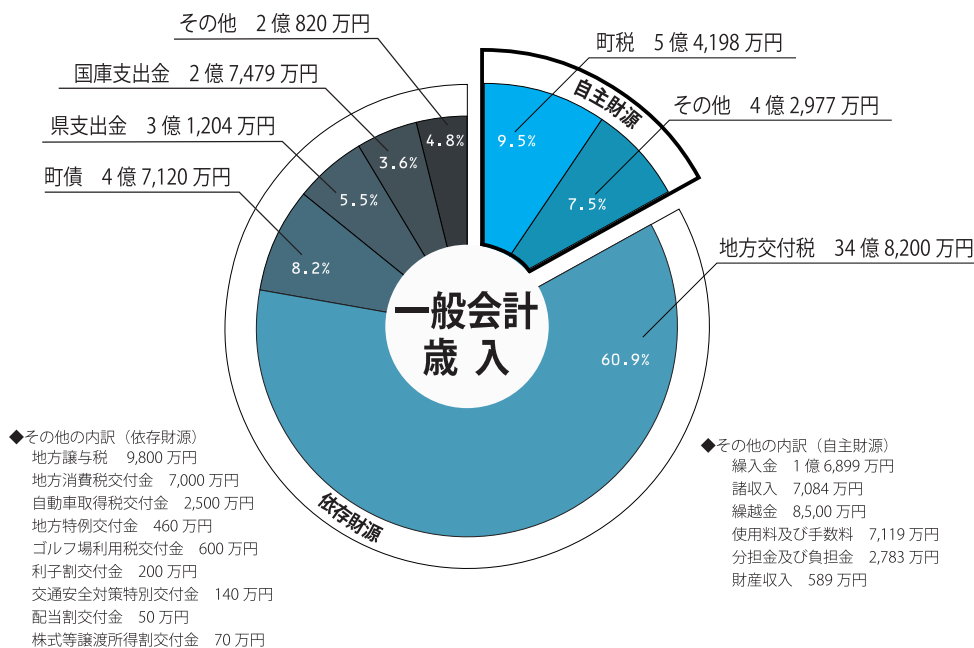
19年度予算の内容	2~4P
羽柴麗君全国で優勝	5P
町議会議員選挙結果	7P
マラソンで交通規制	9P
教育委員会表彰ほか	12P
公共機関の人事異動	13P
行政区長と地区担当職員	15P

写真■4月6日越中畑小学校入学式で入学記念品を受け取る佐藤運はなくん（関連6ページ）

平成19年度予算の内容

昨年比2億1500万円の減

一年間の予算



町は、みなさんの家計と同じように、一年間に収入（歳入、財源）がどれくらいあるのか、何にいくらお金を使うこと（歳出）ができるのか、何を節約し何を伸ばさなければならぬのかをあらかじめ計画し予定を立てます。この計算結果を当初予算と言います。

役場の会計は4月から翌年3月までの1年間なので、3月までには翌年度の予算を決める必要があります。当初予算は1年の年間予算ですが、災害のように予測が難しいものもあります。そこで、最初から予定していない事柄に対応する必要がでた時に当初予算を修正します。このことを補正予算と言います。増額する場合と減額する場合があります。

予算ができるまで

予算は、はじめに各課で必要な事業を計画します。これには各地区から出されている要望や町として行うべき事業などが反映されます。そして、各課から予算要求を統括する総務課に提出します。このことを予算要求と言います。

収入がないにもかかわらず、収入以上の事業を行うには起債などの借金を増やすこととなります。そのため総務課は、支出が収入を上回らないようになるまで、各課に聞き取り調査などを行い、町長から事業の優先度や重要度の指示を受け予算を配分していきます。

このような作業を繰り返して、新年度の予算ができあがります。そして、町議会に提示し可決され、はじめて当初予算が成立します。

平成19年度の予算の概要

3月定例議会が3月8日から23日まで行われ、本年度の予算が可決されました。一般会計予算の総額は、

52億7000万円、昨年と比べ2億1500万円の減、率にすると3・6%の減になりました。

また7つの特別会計の総額は39億9000万円あまりで、昨年とくらべ2億円あまりの減になりました。また、病院会計は昨年とほぼ同額の8億円あまりで事業を推進していきます。

【歳入・自主財源は10億円】

一般会計の歳入では、自主財源のうち町税がおよそ5億4000万円です。また、国から各自治体の基本的なサービスを維持するため支払われる地方交付税が34億8000万円（昨年と比べ2000万円の減額）になりました。

また、町の借金を意味する町債は4億7000万円あまり（昨年と比べ3000万円の減）になりました。

【歳出・借金返済に13億円】

一般会計の歳出で一番大きな支出は町の借金の返済金にあたる公債費です。公債費は13億5800万円あまりで、昨年とくらべ4500万円あまりを多く返済

理解を深めるために

① 一般会計と特別会計とは

一般会計とは、特別会計に属さない歳入と歳出の全体を示し、自治体にとってはもっとも規模が大きい会計で重要な会計です。

これに対して、特別会計とは、簡易水道、温泉事業、国民健康保険などのように、料金や保険料などの特定の収入を財源として、特定の目的の事業を行うための会計を指します。

② 歳入と歳出とは

歳入とは入ってくるお金で収入のこと。歳出とは、出ていくお金で支出のこと。

③ 地方交付税とは

規模の大小にかかわらずどの市町村でも同じような行政事務を行うことができるように、国税（所得税、法人税、酒税、たばこ税など）のそれぞれの一定割合を、一定の基準により国が市町村に交付するもの。

④ 自主財源と依存財源とは

自主財源とは、町民税や法人税などの町税のほか、手数料などを指し、一方の依存財源とは地方交付税や町債、国庫支出金、県支出金などが含まれます。

⑤ 町債とは

町が道路整備や建物建築などに充てるため借り入れるお金のこと。

⑥ 公債費とは

町がこれまでに借り入れた借金を返済するお金。

⑦ 普通建設事業費とは

道路や公共施設の建設、改修などを行う費用のことを言います。このうち国や県の補助を受けて実施する事業を補助建設事業といい、単独事業は補助の入らない事業を指します。

⑧ 人件費とは

特別職（町長や議員）、一般職員のほか各種委員などに支払われる費用。

また、特別会計に携わる職員についてはその会計から人件費が支払われるものがあります。

⑨ 物件費とは

公共施設の燃料、光熱水費や委託料などの費用。

⑩ 補助費とは

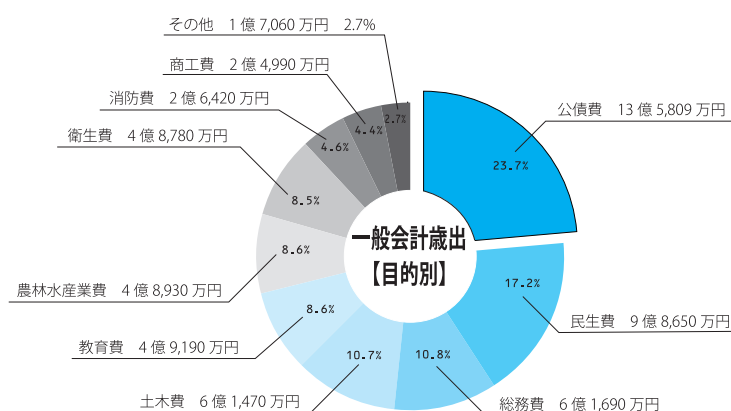
各種団体に対する補助、負担金などに要する経費。

⑪ 扶助費とは

医療費や児童手当で給付などに充てられる費用。

19年度

一般会計予算歳入

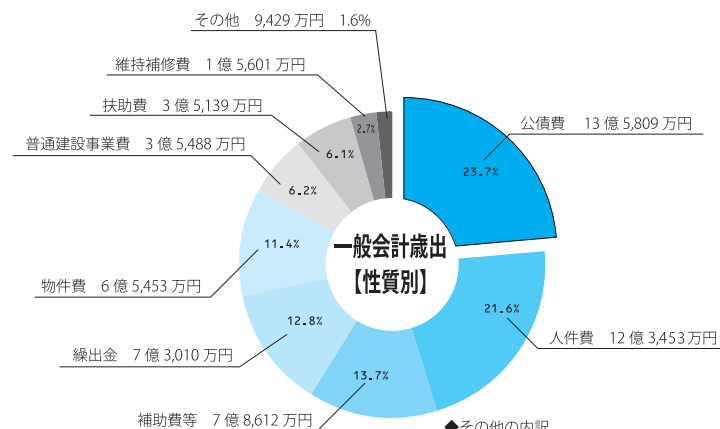


【歳出目的別予算】

行政目的別に経費を分類することで、各課ごとの大まかな予算の内容を示しています。

◆その他の内訳

議会費 8,180万円 1.4%
災害復旧費 6,900万円 1.2%
予備費 800万円 0.1%
労働費 190万円 0.0%



【歳出性質別予算】

経費を経済的な性質により分類することで、町の財政運営を示しています。

◆その他の内訳

災害復旧費 6,548万円 1.1%
投資及び出資金、貸付金 2,050万円 0.4%
予備費 800万円 0.1%
積立金 31万円 0.0%

そのほかの会計の予算状況

一般会計	52億7,000万円
------	------------

+

特別会計	国民健康保険	7億9,134万円
	老人保健	10億8,425万円
	介護保険	8億5,483万円
	簡易水道事業	5億5,368万円
	下水道事業	5億0,608万円
	農業集落排水	6,371万円
	温泉事業	1億3,297万円
	合計	39億8,688万円

II

一般会計と特別会計の合計	92億5,688万円
--------------	------------

沢内病院	病院事業収益	7億2,572万円
	病院事業費用	7億8,260万円
	資本的収支	676万円
	資本的支出	676万円

昨年、西和賀町行政改革審議会（為田直助会長・新町）から提出された最終答申では、特に町財政の

厳しい財政運営の中で

します。次に人件費で昨年と比べおよそ3000万円減の12億3400万円になりました。

健全化が指摘されています。実質公債費比率は18%以下、経常収支比率は90%以下にすることが求められています。これらを受け町では、職員の削減や経費を節減し、借金を早く返し健全な財政運営を行っていきます。

今年度の主な事業

まちづくりや地域づくりに（企画課）

- ◆地方交通路線対策事業 1,415万円
湯川線代替バス運行や地域路線バス運行へ補助するとともに、バス利用促進にも取り組みます
- ◆西和賀エコミュージアム事業 227万円
西和賀の自然や景観の保全、文化や技術の伝承活動を通し地域資源を生かした地域づくりを進めます
- ◆ふるさと回帰支援事業 153万円
団塊の世代などの町内移住を促進するため情報発信、体験移住などを行います
- ◆地域づくり活動推進支援事業 723万円
住民と行政による協働のまちづくりを進めるために、地域活動を人的・資金的に支援をします
- ◆湖畔ステージ活用事業 80万円
銀河ホールの下方にできた湖畔ステージのこけら落としを行います
- ◆SL運行事業 94万円
北上線でSL運行されるのを記念イベントを行います

行革に（行革推進室）

- ◆行政評価推進費 70万円
第三セクターの経営評価を外部機関に依頼し適正な評価を行います

環境やゴミ対策に（生活環境課）

- ◆ごみ収集と運搬業務委託料 2,455万円
町内のごみ収集と運搬に必要な費用です
- ◆可燃ごみ処理業務委託料 2,359万円
可燃ごみの処理を北上市に依頼する費用です

選挙に（選挙管理委員会）

- ◆県知事・県議会議員選挙 885万円（うち810万円は県から）
4月8日に行った県知事・県議会議員選挙費用
- ◆西和賀町議会議員選挙 1,279万円
4月22日に行った町議会議員選挙費用
- ◆参議院議員選挙 1,170万円（うち980万円は国から）
ことし7月22日に第21回参議院議員通常選挙が行われ、参議院議員の半数の121議席（比例選48議席、選挙区73議席）が改選される予定です

町道整備と上下水道整備に（建設課）

- ◆町道下前小瀬沢線道路改良事業 7,200万円
柳沢地内の道路改良と防雪柵を設置します
- ◆道路凍上災害復旧事業 2億8,780万円
町道23路線の総延長およそ15kmを復旧します
- ◆湯田簡易水道施設整備事業 7,582万円
耳取地区、左草地区で古くなった水道管を交換します
- ◆沢内簡易水道施設整備事業 2億1,216万円
新町配水系で新しく管を布設するほか、水道施設監視設備を設置します
- ◆下水道施設整備事業 1億1,450万円
下の沢地区、湯川地区に下水道管を布設します

保健関係に（保健福祉課）

- ◆町単独老人医療費給付事業 5,099万円
本町に住む満65歳以上の方に、医療費の自己負担金の一部を助成します
- ◆敬老記念事業 426万円
本年度75歳に到達する方を対象に、各行政区が行う敬老会に対し助成を行います
- ◆生活支援ハウス運営事業 1,000万円
自宅で生活することに不安のある一人暮らしの高齢者などに対し、かたくりの園と悠々館の居室を提供します
- ◆老人医療費給付制度検討事業 23万円
給付や財政負担の状況、地域医療の状況を考慮し、内容を再検討するための検討委員会を組織します
- ◆放課後児童健全育成事業 608万円
保護者が仕事などで日中家庭にいない小学校の児童に、授業終了後に適切な遊びと生活の場を与え、児童の健全な育成を図ります

- ◆保育施設を考える委員会事業 30万円
保育施設の運営形態や統廃合、事業内容について検討する委員会を組織します

- ◆医師養成事業 300万円
医師免許取得後、沢内病院で医療に従事する方に修学資金を貸与します。定められた義務を履行すれば貸付金の返済を免除します

- ◆検診事業 3,892万円
総合成人病検診や巡回集団検診などの検診事業を行います

住民生活に（生活環境課ほか）

- ◆公民館下水道整備事業 1,246万円
川舟公民館、高下公民館、蛭子森公民館、丸志田公民館の下水道を整備します
- ◆小型動力ポンプ付積載車購入事業 716万円
貝沢地区に小型ポンプ消防車を配備します
- ◆消防屯所整備事業 1,874万円
長瀬野地区と貝沢地区の消防屯所を整備します
- ◆地域防災計画策定事業 350万円
町内の防災計画を策定します
- ◆消費者救済資金貸付事業 400万円
多重債務者問題解決のために消費者貸付制度を継続します

農林業の振興に（農林課）

- ◆農業振興センター活動推進事業 1,356万円
- ◆総合花卉産地づくり推進事業 871万円
花卉の生産拡大のため苗・球根の購入費に対し助成します
- ◆基盤整備事業
中山間地域総合整備事業（弁天地区） 2,835万円
農業生産基盤整備事業（左草地区） 4,546万円
- ◆中山間地域等直接支払交付金 8,838万円
農業生産不利地域の中山間地域において一定の条件を満たす農地に助成します
- ◆森林バイオマス利用事業 194万円
自然環境に配慮しつつスギ間伐材の促進と有効利用のため助成します
- ◆森林総合整備事業 1,488万円
町有林などの除間伐を行い森林の機能が発揮されるよう適正管理します

商工関係に（観光商工課）

- ◆中小企業融資事業 1,500万円
中小企業者への資金融資と保証料の補給、一部に利子補給します
- ◆ふるさと就職支援事業 362万円
町内事業所に就職した若者とその事業主に、それぞれ助成金を交付します
- ◆イベントの開催に（錦秋湖マラソン220万円、雪合戦大会350万円、夏まつり370万円など） 1,115万円
- ◆健康づくり大学実践事業 145万円
宿泊客に温泉を活用した健康づくりを実施します

教育に（学務課）

- ◆西和賀高校教育振興事業 605万円
西和賀高校の教育振興会と町外の生徒への通学費を助成します
- ◆中学生海外研修事業 194万円
湯田中と沢内中の生徒を海外に派遣し世界に通用する人材を育成します
- ◆町立小学校適正配置検討委員会設置事業 87万円
町内小学校の適正配置のために昨年に引き続き検討委員会を設置し検討します

芸術文化に（生涯学習課）

- ◆高齢者演劇サミット事業 137万円
- ◆町村史編さん事業 288万円
旧両町村の町村史の発行時点以後から合併までの期間を編集発行します

快挙 全国大会で優勝

頭角をあらわした
アルペンレーサー
羽柴麗君



3月27日から29日まで八幡平市安比高原スキー場で行われた第1回全国小学生アルペンスキー大会で5年男子の部で羽柴麗君（湯本小・現在6年・樺沢）が初のチャンピオンに、4年女子の部で竹澤ゆきみさん（湯本小・現在5年・槻沢）が4位に入賞しました。

写真提供：羽柴徹弥さん（樺沢）

小学生の全国大会は初

この大会は、（財）岩手県スキー連盟などが中心になり行ったもので、小学生を対象とした初めての全国規模の大会です。全国から予選を勝ち抜いた4年生か

ら6年生までおよそ300人が参加しました。

この大会の岩手県選手団は、2月25日八幡平市八幡平リゾートスキー場で行われた予選会で各学年男女上位10人ずつが選考され本大会に挑戦しました。本町からは10人の精鋭が出場しま

した。

初のチャンピオン羽柴君

羽柴麗君は29日に行われた5年男子の部に出場。当日は、猛吹雪と霧により視界が悪く、旗門が3〜4つ先までしか見えないため、尻込みをしたりゴールまでの回転のイメージをつくりにくい悪天候下で行われました。

麗君は「全国大会ということもあってかなり緊張しましたが、第1回目の全国大会なのでどうしても優勝したかった」という意気込みと練習の成果を信じてスタート。果敢に旗門に飛び込み積極的にスキーを滑らせました。その結果、2位に0秒85の差をつけて57秒60で優勝し初のチャンピオンに輝きました。

麗君は「雪が少なく練習も去年の半分もできなかった。でも、雪がけつこう硬く、ワックスもバツチリでした。自信はあったので3位以内には入れると思っていました。優勝でき

て本当にうれしいです」と話し「スタートの仕方をもっとうまくできるようにになりたいし、そして来年も優勝します」と力強く話していました。

3位以内を誓う竹澤さん

4年女子の部で4位に入賞した竹澤ゆきみさん。ゴール直後に安心したせいか防護ネットにぶつかり倒れたものの、幸いに大事にはいたりませんでした。

「3位以内に入れるように頑張りましたが4位でした。来年は3位以内に入れるように頑張ります」と抱負を話していました。

この頑張りを糧に

大会に同行した西和賀町スキー協会の米澤隆光さん（太田）は「今回の大会は、自分が見た中でも競技者のレベルが高い大会だった。この全国レベルの大会で麗君やゆきみさんが頑張ってくれたことは本当にうれしい快挙だ。麗君やゆきみ

さんを目指し、もつと地元選手にも活躍してほしい。また、町のアルペン競技を充実させ底辺層の拡大に取り組んでいきたい」と話していました。

【大会結果―学年は大会時】

▽4年男子②高橋佑哉（一本杉スポ少・猿橋）▽同女子④竹澤ゆきみ（湯田ジュニア）②高橋優衣（湯田ジュニア・湯之沢）▽5年男子①羽柴麗（湯田ジュニア）④刈田圭佑（志賀来スポ少・鍵飯）▽同女子④刈田ル（志賀来スポ少・東大野）▽6年男子⑪刈田雄平（湯田ジュニア・槻沢）④高橋一輝（志賀来スポ少・長瀬野）▽同女子⑫佐藤麻美（志賀来スポ少・新町）⑫高橋葉月（一本杉スポ少・猿橋）



4月6日町長に報告する2人



新しい出会い

入学おめでとう

小学校には44人

町内小学校の入学生は44人です。入学生の多いのは湯本小の12人で、少ないのは貝沢小と越中小の2人ずつでした。



上級生のコントで和む新入生（越中畑小）

越中畑小では2人が入学しました。ことしの4月に釜石市立尾崎小から同校に着任した竹原晴美校長は「新入生のみなさんには先生から、あいさつの種、なかよしの種、がんばる種の3つをプレゼントします。でも、よしがんばるぞ、よし負けないぞという気持ち

がないと、きらきらと光る大きな花は咲きません。3つの種を2人の心にまいたので、小学校生活で大きく育ててください」と励ましました。

新入生には、教育委員会やPTAから記念品が渡されました。引き続き、在校生が中心になり一年生を迎える会が行われました。児童会長の菊池陽介君（6年・越中畑）から「小学校では保育園と違い勉強があります。分からないことがあったらお兄さん、お姉さんに聞いてください」とあいさつがあり、在校生らは学校生活のことをショートコントにしておもしろおかしく紹介しました。

中学校には61人

湯田中には18人、沢内中には43人が入学しました。沢内中学校の入学式は棟続きの体育館ではなく、同

4月4日は沢内中学校で、4月5日は湯田中学校で、6日は町内の7つの小学校で入学式が行われました。また、4月9日は西和賀高校で行われ、新入生はそれぞれの思いを胸に入学しました。



真剣な表情の新入生（沢内中）

校の正面玄関にある第2屋内運動場で行うのが習わしです。式には、新入生のほか父母や在校生などが出席し新入生を歓迎しました。来賓として出席した町長は「中学校ではいろんなことに疑問を抱き、片っ端から質問をしてほしい。物事を知るといことは素晴らしいこと。苦しいことも楽しいこともあるでしょう。しかし、勉強では苦しいことを乗り越え、本心に良かったと思う気持ちが必要だ。問題や課題には、みんなの力を出し合ってほしい」と新入生にエールを送りました。

また、新入生を代表し斉藤未散君（川舟）が「先生や先輩の教えを良く聞いて新しい仲間たちと力を合わせて頑張っていきます。今この場所にいる緊張感を忘れず、沢内中学校の伝統と名誉を受け継ぎながら、何事にも全力で取り組んでいくことを誓います」と誓いの言葉を述べました。

町内中高の生徒数 (4月6日企画課調べ)

学校名	沢内中	湯田中	西高
校長名	中村 雅英	川村 庸子	菅原 通
1年	43	18	73
2年	31	27	73
3年	38	25	72
学校別計	112	70	218

町内小学校の生徒数

(4月6日企画課調べ)

学校名	貝沢小	川舟小	猿橋小	沢内一小	湯本小	川尻小	越中畑小	学年別計
校長名	高橋チエ子	佐々木 健	皆川 豊子	浅沼 誠	小原千栄子	田村 壮一	竹原 晴美	
1年	2	3	6	10	12	9	2	44
2年	2	3	4	8	12	13	1	43
3年	6	4	6	18	12	5	5	56
4年	2	5	5	7	8	5	2	34
5年	2	5	8	15	15	7	2	54
6年	3	6	2	13	5	15	6	50
学校別計	17	26	31	71	64	54	18	281

注 表の中の「>」のマークはその学年同士が一つの学級(複式)であることを示します

統一地方選挙結果

新町議
16人決まる

4月8日に岩手県知事選挙と岩手県議会議員選挙、4月22日に西和賀町議会議員選挙が町内17投票所で行われ、午後8時から川尻体育館で即日開票されました。

【町議会議員選挙結果 表1】

定数16人に対し、現職17人と新人4人の21人が立候補しました。現職の柳沢安雄さんが477票を獲得しトップ当選をはたしました。

【知事選挙結果 表2】

岩手県知事には、新人の達増拓也さんが45万票あまりを獲得し初当選しました。達増さんの当選で全国最年少の知事が誕生しました。

【県議会議員選挙結果 表3】

定数4人の北上選挙区には5人が立候補し、泉沢出身で北上市在住の新人・久保孝喜さんが1万2000票あまりでトップ当選をはたしました。町内出身ということもあり、町の有効投票数の実におよそ6割にあたる3085票を獲得しました。

【町議選は92% 表4】

それぞれの選挙の投票率は80%を超えました。

【表1】 町議会議員選挙結果（4月22日）

当落	区分	名 前	年齢	地区	得票数	当落	区分	名 前	年齢	地区	得票数
当	現職	柳沢 安雄	61	湯本	477	当	現職	中村 キミイ	61	両沢	279
当	現職	柏崎 弘行	56	湯田	398	当	現職	佐藤 育雄	67	上野々	263
当	現職	深沢 重勝	62	川舟	344	当	現職	高橋 雅一	55	大野	255
当	現職	児玉 正彦	64	若畑	330	当	現職	高橋 貞夫	68	泉沢	251
当	現職	高橋 昭貴	54	太田	325	当	現職	早川 久衛	67	中村	242
当	新人	高橋 和子	62	長瀬野	300	一	現職	宇都宮 幸市	68	左草	223
当	新人	湯沢 正	60	湯之沢	295	一	現職	家子 勝也	54	湯本	201
当	新人	川村 清也	47	上野々	293	一	現職	刈田 敏	47	新町	198
当	現職	柿沢 繁俊	56	鍵飯	290	一	現職	田村 茂	54	細内	166
当	現職	佐々木 正裕	59	前郷	289	一	新人	佐藤 武	59	新町	118
当	現職	大石 忠夫	63	新町	280						

【表2】 岩手県知事選挙結果（4月8日）

当落	名 前	年齢	西和賀町	その他の市町村	得票総数
当	達増 拓也	42	2,750 票	45 万 1,385 票	45 万 4,135 票
一	柳村 純一	56	1,682 票	15 万 7,199 票	15 万 8,881 票
一	ザ・グレート・サスケ	37	337 票	6 万 1,585 票	6 万 1,922 票
一	菅野 恒信	61	316 票	4 万 8,140 票	4 万 8,456 票
一	芦名 鉄雄	61	135 票	2 万 3,015 票	2 万 3,150 票

【表4】 投票率など

項目	知事選	県議選	町議選
有権者数	6,373 票	6,369 票	6,345 票
投票者総数	5,323 票	5,318 票	5,852 票
有効投票数	5,220 票	5,239 票	5,817 票
無効投票数	103 票	79 票	35 票
投票率	83.52%	83.50%	92.23%

【表3】 岩手県議会議員選挙結果(4月8日)

当落	名 前	年齢	西和賀町	北上市	得票総数
当	久保 孝喜	53	3,085 票	9,546 票	1 万 2,631 票
当	関根 敏伸	51	196 票	1 万 1,524 票	1 万 1,720 票
当	高橋 元	54	334 票	1 万 1,318 票	1 万 1,652 票
当	菊池 勲	69	1,005 票	9,973 票	1 万 978 票
一	高橋 賢輔	70	618 票	7,011 票	7,629 票

知る権利 明確化

西和賀町情報公開条例を制定

7月から請求可能に

3月定例議会にて、西和賀町情報公開条例が可決されました。内容は町の行政文書は手続きをすることで公開（個人情報など公開できない情報を除く）する、というものです。公開請求は7月1日から可能です。

情報公開は地方自治体から

景観の町としても知られる山形県金山町では、国よりも早く全国の自治体に先駆けて昭和57年に情報公開

制度となる「公文書公開条例」を制定し施行しました。その後、都道府県では神奈川県がいち早く同年に制定し、以降は急速に各自治体で制定する動きが顕著になりました。

このように地方自治体の情報公開が進む中、国も平成11年に「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」、平成13年に「行政機関情報公開法」を制定し本格的な情報公開を促進するようになりました。

表現の自由と知る権利

国民には日本国憲法で各種の権利が保障されています。そして憲法第13条で「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする」と明記され、同第21条では「集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する」と記されています。

この表現の自由をよりどころに「知る権利」が主張されています。知る権利には、情報を自由に得る権利と情報の提供を求める権利の2つが含まれます。

知る権利と町の説明責任

この知る権利は、市民運動などの高まりとともに浸透してきました。

町では、西和賀町情報公開条例の第1条で「行政文書の開示等を求める町民の知る権利を明らかにするとともに、情報公開の総合的な推進に必要事項を定めることにより、町の諸活動を町民に説明する責務を全うし、町民の町政に対する理解と信頼を深め、町政の推進に寄与する」とし、町民のみなさんの知る権利と町の説明責任を明確にしています。

情報公開は町がさまざまな行政文書を公開することで、みなさんと情報を共有し、みなさんの知る権利を保障するものです。

情報公開Q&A

Q1 情報公開を行う部署は

A 町長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会、議会の各部署です

Q2 誰が情報公開を請求できますか

A 誰でもできます。町の条例には「何人も…請求できる」と記されています。

Q3 どんな行政文書でも公開しますか

A 公開できる行政文書は、原則として平成19年4月1日以降にQ1の職員が職務上作成した文書、図面や電子的に記録されたデータなどで、町で保有するものに限りです。また、4月1日以前に作成された行政文書のうち保存が永久とされている文書です。

しかし、公開できない文書もあります。例えば、戸籍情報など個人に関する情報があります。税金の情報もそうです。また、法令で公開できないとされている文書もあります。公にすることで公共の安全と秩序を乱すおそれがある情報などのほか、部分的にしか公開できない行政文書があります。

Q4 どのように請求するのですか

A 開示請求書に名前、住所、知りたい情報など必要事項を記入して請求します。郵送でも可能です。メールや口頭などでは請求できません。

Q5 請求から公開までの期間は

A 開示請求があってから15日以内に公開できるかどうか決定し、お知らせします。ただし、請求された情報が大量だった場合など事務処理に時間が必要な場合は15日にプラスして30日以内まで回答が延長される場合があります。

Q6 公開のための手数料は

A 開示請求そのものは無料ですが行政文書のコピー代や電子記録（フロッピーディスクなどに収める場合）は実費分が必要です。また、郵送の場合はその実費分が必要です。

Q7 不開示に納得できない場合は

A 町長が認めた5人以内の有識者で組織する西和賀町情報公開審査会に不服申し立てをすることができます。

問合先／総務課 ☎ 82-3281

5月27日は錦秋湖マラソン

1992人がスタート

4月10日湯田庁舎で錦秋湖マラソンの事務所開きが行われ大会本部が湯田庁舎3階に設置されました。

開所にあたり大会会長の町長は「大会にはたくさんの要望が出される。参加者全員に100%の満足を与えるのはとても無理かもしれないが、100%に近い充実感を味わってもらおうという心意気と精神が大事だ。西和賀町の誇りと精神を内外に示すという気持ちで取り組んでほしい」と大会に向けて意気込みを話していました。

今大会には、全国各地から1992人の応募を受け付けています。町内からも36人が参加する予定です。また、この大会を支える



大会会長が看板を掲示

役員やボランティアはおよそ500人です。各団体や各地区のみなさんからの協力で成り立っています。

スタートは湯田庁舎前の国道107号で30kmとハーフが10時スタート、5分遅れで10kmがスタートします。どうぞ沿道での応援をお願いします。

また、マラソンを行うことで交通規制がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

恒例の花火打ち上げ

マラソン大会実施の前日に行われている湖水まつり。名物ともなった湖上遊覧などが予定されているほか、さまざまなイベントが盛りだくさん。20時から、恒例の花火打ち上げがあります。どうぞ、ご家族でご覧ください。

湖水まつりは、湖水まつり実行委員会事務局（西和賀商工会内）☎82-2270にお問い合わせください。

交通規制の区間と時間

この大会の運営のため、次のとおり交通規制を行いますので、大会中はできるだけ迂回路をご利用ください。

◆国道107号(規制区間①)

川正商店前丁字路交差点から川尻石油前丁字路交差点まで

・全面通行止

9時50分から10時10分まで(この時間帯は車両が全く通行できません)

・片側通行止

10時10分から13時まで(この時間帯は相互に通行できます)

◆主要地方道盛岡横手線(規制区間②)

川尻橋丁字路交差点から湯本大橋丁字路交差点まで

・片側一方通行

10時10分から12時30分まで(湯本方面から川尻方面への一方通行になるので、川尻から湯本方面への通行はできません。湯本方面に向かう際には107号線を経由して小繋沢アクセス道を通行してください)

◆町道湯本湯田線(規制区間③)

湯本大橋丁字路から湯田機械前丁字路までの区間

・全面通行止

10時10分から12時30分まで

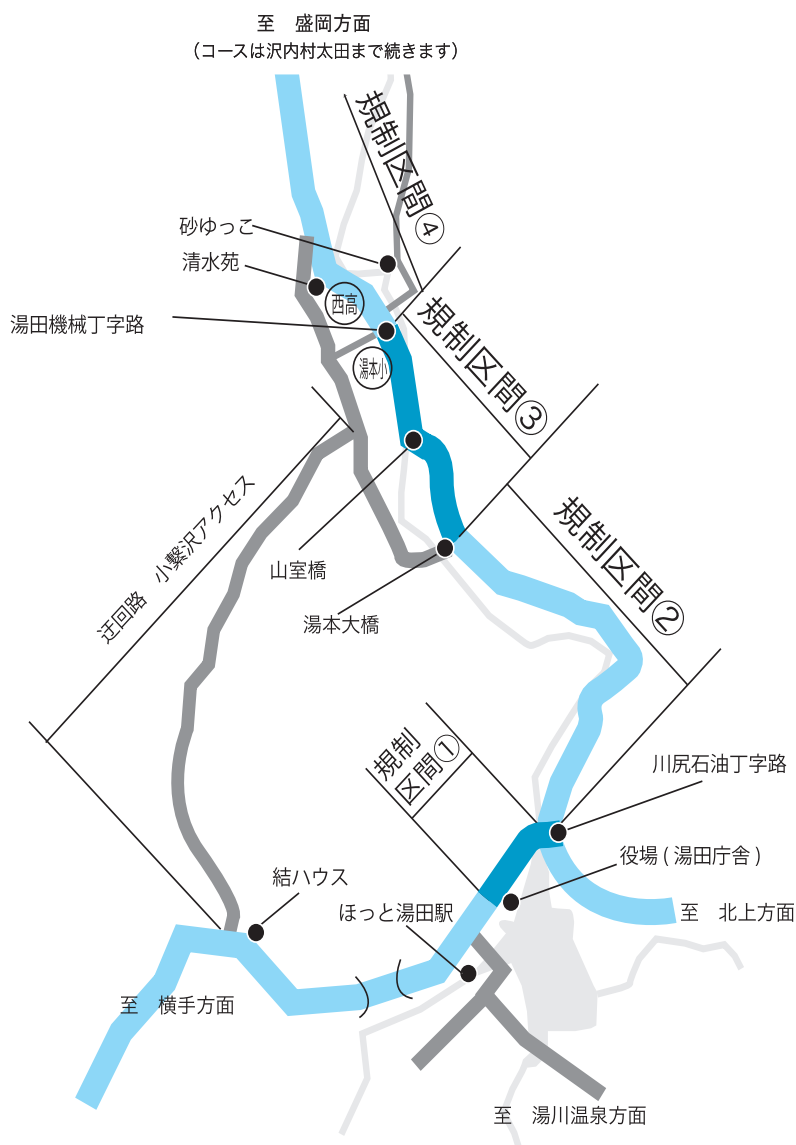
◆主要地方道盛岡横手線(規制区間④)

湯田機械前丁字路から沢内太田(弁天島入口)までの区間は原則として、東側幹線を通行してください。

・通行制限

10時10分から13時まで

問合先／錦秋湖マラソン大会事務局(観光商工課内)
☎82-3290まで



薪ストーブ 世界一目指し講演会

3月17日沢内バーデンで町が中心になり「薪ストーブ講演会」を行い、地域住民や関係者などおよそ70人が参加しました。講演は、(株)森のエネルギー研究所代表取締役の大場龍夫さんとエネルギーアドバイザーの長土居正弘さんが行いました。

沢内村では、平成15年に「めざします。薪ストーブ利用世界一」を目標にかかげ、計画をたてて薪ストーブの普及促進に積極的に取り組んできました。現在は、世界的に地球温暖化が問題となつていますが、「一見昔のもの、古い生活スタイル」と思われがちな薪ストーブが、実は時代の先端であり長く続くものであるなどの話がありました。参加者らは熱心に聞き入り、関心をよせていました。



熱心に話を聞く参加者

地域への恩返し 北上信用金庫でAEDを寄贈



使い方を説明する高橋執行委員長（左）

北上信用金庫（小林輝夫理事長）と北上信用金庫従業員組合（高橋祐樹執行委員長・湯之沢）では、この度西和賀町や北上市などにAEDをそれぞれ1台ずつ寄贈しました。

AED（Automated External Defibrillatorの略）とは自動体外式除細動器などと略されます。心臓が細かく震え血液を送り出すポンプ機能が失われた心臓に対し、一時的に電気ショックを与えその震えを取り除く装置です。

3月30日湯田庁舎で行われた寄贈式では小林理事長が「1月に職員を対象にAED研修会を行ったこと、組合が40年の節目を迎えたことなどで機運が高まり、地域のみなさんに対する恩返しでAEDを寄贈することにした。役にたててほしい」と述べていました。

住民の立場になって 行政評価研究会で報告書

役場職員の中から公募により組織された行政評価研究会（委員9人・為田美代子リーダー・保健福祉課）では、3月30日町長に対し報告書を提出しました。研究会では、昨年1月から10回の会議と3回の研修を行い報告書としてまとめたものです。

リーダーの為田さんは「町民の視点に立ち、町が行う事業などを点検・評価しその結果を次の企画立案に生かしてほしい」と話し、町長は「行政改革には強力な意識改革が必要だ。これらに取り組んだみなさんの意識を大事にし、新年度から取り組んでいきたい」と、職員の中から意識が変わり始めていることを評価していました。



町長に報告を手渡す為田リーダー

温泉と食事で 健康プログラム



「おもてなしが大切」

3月27日から28日まで湯本温泉地内を中心に「健康づくり大学実践講座」が行われました。これは、本町の温泉と食事などを組み合わせ、健康の増進に役立ててほしいと、西和賀町健康づくり大学推進協議会が企画しました。

講座には関係者などおよそ20人が参加し、足湯や砂湯などの温泉効能の説明を受けたほか、地産産品を使った食事の試食などが行われました。講師の温泉療養システム研究会の上田理彦医学博士は「この町にはこのような健康プログラムがあつて、ホスピタリティ（おもてなし）があるという気持が必要。一過性にならずに、みなさんでよりよいプログラムを作り上げてほしい」と話していました。

女性が輝いて社会参画 婦人連絡協で定例総会



会議では活発な討議が行なわれました

3月18日沢内庁舎で西和賀婦人連絡協議会第2回定例総会が行われ、会場には会員など70人あまりが参加しました。

冒頭で加藤久子会長は「組織に誇りをもって、昨年以上に地域づくりに参加し、問題を解決するだけではなく住民の希望や期待をかなえる言わば期待実現型を実践していきたい」とあいさつしました。

総会では、平成18年度の事業報告や収支決算などが承認されたほか、平成19年度の事業計画や収支予算などが審議され原案どおり可決されました。

同会では、廃品回収運動や各種イベントへの協力、生活改善や学習会などを通じて女性が輝いて社会参加できる地域づくりを目指しています。

西和賀農業振興センター 4月から始動

3月28日北上総合支局で西和賀農業振興センターに対するNPO法人（特定非営利活動法人）設立認証書の交付式が行われ、吉田正志理事長（川舟）、南川信一副理事長（貝沢）などが出席しました。

同センターは市場競争力のある産地形成を行うための戦略的な組織で、西和賀花卉振興協議会が母体です。そして町内の農業者に、品種開発や生産、販売活動の支援を行いながら関係団体と連携し農業振興を図ることが目的です。

同センターは沢内庁舎内に設置され、町農林課から出向した内記和彦さんをセンター長に、運営軌道化専門員の佐々木富雄さん、西和賀農協から出向の石川誠さん（大野）の3人が常勤します。



認証書を受け取る吉田理事長

介護ステーションゆいっこ 新町に開所



落成式の盛大なもちまき 写真：岩手日報社

昨年の8月25日に北上総合支局管内で16番目、県内で259番目のNPO法人（特定非営利活動法人）認証となったNPO法人ゆいっこ（田中美恵子理事長・貝沢）は、新町保育所となり介護ステーションゆいっこを開所しました。

同施設は認知症の方が共同生活するグループホームと町内では初の小規模多機能ホームを併設した介護福祉施設です。小規模多機能ホームは、介護認定されているか認定される予定の方に通い・宿泊・訪問の3つのサービスを同時に提供します。

3月25日の落成式当日は、無事故の運営を祈願しました。田中理事長は「地域と共に歩んでいく運営を心がけ、利用者の生活の質を高められるようにしていきたい」と抱負を話していました。

岩手県環境アドバイザー 環境問題などの講師に

岩手県では、地域やグループが行う環境問題に関する研修会、自然観察会の現地講師として派遣するため県内52人を岩手県環境アドバイザーとして委嘱しました。

町内からは、瀬川強さん（川尻）、瀬川陽子さん（川尻）、佐井守さん（新町）、高橋康文さん（新町）の4人が町から推薦され委嘱されました。任期は、平成21年3月までの2年間。



4月13日町長に委嘱を報告する4人

瀬川強さんは「この制度を利用するには費用もかからないのでどんな使ってほしいし、町や県のほうでは町民が利用しやすいように工夫をしてほしい」と話していました。

依頼したい場合は生活環境課 82-3283まで。

平成18年度西和賀町体育協会表彰 学生の頑張りが目立ちました

3月28日太田老人福祉センターで平成18年度西和賀町体育協会表彰式が行われました。この表彰は西和賀町体育協会(高橋謙治会長・新町)が協会の発展や地域スポーツ振興に尽くした者や各種大会で優秀な成績を収めた選手をたたえています。

優秀選手賞は県大会以上の大会で優勝するか同程度の成績と認められた者に与えられます。

【受賞者と主な経歴、学年は受賞当時、成績は主なもので年度がないものは18年度、敬称略、順不同】

優秀選手賞

- ◆**梅川良一(川尻・町スキー協会)**
第59回岩手県民体育大会スキー成年男子H組大回転優勝
- ◆**高橋北斗(間木野・町スキー協会)**
59回岩手県民体育大会スキー成年男子C組大回転3位、国体出場
- ◆**照井貴子(水沢高教・長瀬野)**
第58回岩手県民体育大会陸上競技の7部成年女子1万m競歩優勝、国体出場
- ◆**大堰裕介(貝沢・盛工業高2年)**
第57回岩手県高等学校新人陸上競技大会の円盤投げとハンマー投で優勝
- ◆**刈田麻美(川舟・花巻東高2年)**
平成17年第57回岩手県民体育大会陸上競技9部少年女子800m優勝
- ◆**深澤礼美(川舟・西高1年)**
第58回岩手県民体育大会陸上競技9部少年女子B3000m競歩優勝、国体出場
- ◆**米澤豪範(太田・立命館大1年)**
第33回東北総合体育大会のボート競技成年男子シングルスカルで優勝、国体出場
- ◆**高橋尚子(湯川・法政大3年)**
第61回国民体育大会ボート競技成年女子シングルスカル2位
- ◆**伊藤和法(新町・西高3年)**
第58回岩手県高等学校総合体育大会ボート競技男子シングルスカル優勝、インターハイと国体に出場
- ◆**土井春香(長瀬野・西高3年)、高橋杏奈(湯之沢・西高3年)、高橋美知子(湯田・西高3年)、高橋佳寿子(下前・西高3年)**
第58回岩手県高等学校総合体育大会ボート競技女子舵手付クォドルプル優勝、インターハイ出場
- ◆**和泉幸奈・照井陽子・高橋佳奈子・高橋知恵子・山田温子・高橋美紀子(錦秋湖ボートクラブ)**
第58回岩手県民体育大会成年女子 舵手付クォドルプル優勝
- ◆**高橋明寛(上野々・日大1年)**
第33回東北総合体育大会ウエイトリフティング69Kg級3位

栄 光 賞

- ◆**伊藤さくら(猿橋・西和賀マスターズ)**
平成17年第18回全国スポーツレクリエーション祭岩手大会陸上100m女子45～49才の部3位
- ◆**山本幸男(川尻・西和賀マスターズ)**
平成17年度第18回全国スポーツレクリエーション祭岩手大会陸上800m男子55～59才の部3位
- ◆**土井政江(長瀬野・西和賀マスターズ)**
第27回全日本マスターズ陸上競技大会80mハードル女子45～49才の部2位、走幅跳女子45～49才の部3位
- ◆**山崎浩行(湯本・西和賀マスターズ)**
第27回全日本マスターズ陸上競技大会1,500m男子40～44才の部3位
- ◆**藤原辰男(川尻・町グラウンドゴルフ協会)**
平成17年度第18回全国健康福祉祭2005福岡大会グラウンド・ゴルフ8位

平成18年度西和賀町教育委員会表彰 18人が栄誉に輝く

3月26日太田老人福祉センターで平成18年度西和賀町教育委員会表彰式が行われました。この表彰は町が学校教育、芸術文化、体育振興などで顕著な活躍や活動で、町民に対し大きな活力を与えた人の功績をたたえるため平成13年湯田町で創設され、ことしで6回目になります。

ことしの受賞者は過去最高の18人で、今回受賞者をふくめ今まで42人が受賞しています。

【受賞者と主な経歴、学年は受賞当時、成績は主なもので年度がないものは18年度、敬称略、順不同】

- ◆**米澤豪範(立命館大1年・太田)**
第33回東北総合体育大会のボート競技成年男子シングルスカルで優勝、国体出場
- ◆**伊藤和法(新町・西高3年)**
第58回岩手県高等学校総合体育大会ボート競技男子シングルスカル優勝、インターハイと国体に出場
- ◆**土井春香(長瀬野・西高3年)、高橋杏奈(湯之沢・西高3年)、高橋美知子(湯田・西高3年)、高橋佳寿子(下前・西高3年)**
第58回岩手県高等学校総合体育大会ボート競技女子舵手付クォドルプル優勝、インターハイ出場
- ◆**大堰裕介(貝沢・盛工業高2年)**
第57回岩手県高等学校新人陸上競技大会の円盤投げとハンマー投で優勝
- ◆**照井大地(貝沢・西高2年)**
第56回岩手県高等学校スキー大会・男子クロスカントリー10kmクラシカル・フリーいずれも3位、インターハイ出場
- ◆**藤原誠(川舟・西高2年)**
平成16年度岩手県中学校スキー大会クロスカントリーリレーで優勝。東北大会に出場
- ◆**吉田琢哉(若畑・一関学院高1年)**
平成16年度岩手県中学校スキー大会クロスカントリーリレーで優勝。東北大会と全国大会に出場
- ◆**深澤礼美(川舟・西高1年)**
第58回岩手県民体育大会陸上競技9部少年女子B3000m競歩で17分30秒86の大会新記録で優勝、国体出場
- ◆**田中正博(新町・沢中3年)**
岩手県中学校スキー大会クロスカントリークラシカルに出場し2位、リレー2位。東北大会と全国大会に出場
- ◆**佐々木涼太(前郷・沢中3年)**
岩手県中学校スキー大会クロスカントリークラシカル7位・フリー3位、リレー2位。東北大会と全国大会にも出場
- ◆**刈田丞美(川舟・沢中3年)**
岩手県中学校スキー大会クロスカントリークラシカル3位・フリー2位、リレー優勝。東北大会と全国大会に出場
- ◆**久保絢(若畑・沢中3年)**
岩手県中学校スキー大会クロスカントリークラシカル5位・フリー3位、リレー優勝。東北大会と全国大会に出場
- ◆**高橋紘枝(前郷・沢中3年)**
岩手県中学校スキー大会クロスカントリークラシカル6位・フリー5位、リレー優勝。東北大会に出場
- ◆**高橋ひろみ(湯川・湯田中3年)**
中学生の『税についての作文』コンクールで東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞
- ◆**菅原千歳(川尻・川尻小5年)**
平成17年度『土砂災害防止月間 絵画・ポスター・作文』コンクールのポスター部門で岩手県最優秀賞と全国砂防部長賞

町内公共機関の人事異動

(敬称略)

◆西和賀町

【課長級(昇格者含む)】

▽高橋義雄(議会議務局長→参事兼会計管理者)▽平藤節夫(議会議務局長→主幹兼監査委員事務局長)▽内記和彦(農林課主幹→議会議務局長主幹兼監査委員事務局長)▽内記晶子(包括支援センター副所長→沢内病院看護師長)▽田中紀明(沢内病院放射線技師→沢内病院放射線科長)

【課長補佐級】

▽小原茂喜(学務課→生涯学習課)▽高橋巧(建設課→観光商工課)▽内記和彦(農林課→農業振興センター)▽高橋三智昭(総務課→農林課)▽菅原久美子(総合サービス課→出納室)▽山本正子(生涯学習課→学務課)▽泉恵子(総務課→生涯学習課)

【主査級】

▽佐藤里美子(保健福祉課→観光商工課)▽高橋肇(嘱託→学務課)▽高橋松夫(嘱託→生涯学習課)

【主任級】

▽高橋千賀子(税務課→農林課)▽藤原まゆ子(出納室→町民課)▽佐々木修(建設課→農林課)▽皆方博(企画課→町民課)▽小田島満成(町民課→観光商工課)▽加藤一幸(観光商工課→町民課)▽小松睦美(学務課→議会議務局長)▽藤島和(建設課→町民課)▽高橋祐征(議会議務局長→総務課(県派遣))▽小川幸(町民課→川尻小学校)▽加藤恵子(嘱託→せんだん保育所)▽刈田紀代子(嘱託→川舟保育所)▽高橋竜也(生涯学習課→税務課)

【主事級】

▽三浦美穂(農林課→企画課)▽佐藤圭司(生活環境課→総合サービス課)

【労務職】

▽佐々木エリ子(嘱託→学務課)▽有馬治(嘱託→農林課)▽刈田敬(嘱託→学務課)▽佐々木保弘(嘱託→学務課)▽新田康行(嘱託→学務課)

【退職】

▽高橋利美・出納室長▽高橋仁・沢内病院検査科長▽藤原美保子・沢内病院看護師長▽深澤吉一・町民課長補佐▽門脇和男・観光商工課長補佐▽高橋淳子・沢内病院主任看護師▽深澤奈美・沢内病院主任薬剤師▽深谷弘子・沢内病院看護師

◆岩手県教育委員会(町教育委員会分)

【転出】▽和田英(学務課指導主事から盛岡市教育委員会へ)▽菅原浩樹(生涯学習課社会教育主事から北上教育事務所へ)【転入】▽大沼秀生(宮古教育事務所から学務課指導主事へ)

◆沢内第一小学校

【転出】▽教諭・金矢英彦(一戸町鳥越小教頭へ)▽教諭・菊池優子(黒沢尻東小へ)【転入】▽教諭・高橋幸子(和賀西小から)▽教諭・細川光子(雫石町西根小から)

◆湯本小学校

【転出】▽教頭・黒田康文(大槌町安渡小教頭へ)▽事務・土井真弓(北上市笠松小へ)【転入】▽教頭・久保隆一(和賀西小教頭から)▽教諭・熊林倫子(花巻市湯本小から)▽事務・阿部知恵(宮古市津軽石小から)

【配置換え】

教諭・岩下恵子(越中畑小へ)▽教諭・高橋尚子(越中畑小から)▽栄養職員・高橋節子

◆川尻小学校

【配置換え】▽校長・田村壮一(越中畑小から)▽教諭・佐藤彰一(北上市南小から)

▽事務・齋藤孝子(二戸市金田一小へ)【転入】▽教諭・門屋健司(黒沢尻東小から)▽事務・小川幸(西和賀町町民課から)

【退職】

▽校長・佐々木須保子

◆越中畑小学校

【転出】▽教頭・田之岡豊(岩手町水堀小教頭へ)【転入】▽校長・竹原晴美(釜石市尾崎小校長から)▽教頭・高橋久美子(二戸市左平小教頭から)【配置換え】▽校長・田村壮一(川尻小学校長へ)▽教諭・高橋尚子(湯本小へ)▽教諭・岩下恵子(湯本小から)

◆沢内中学校

【転出】▽教頭・小田島康(普代中教頭へ)▽教諭・高橋洋之(八幡平市安代中へ)▽教諭・及川仁(軽米町軽米中へ)【転入】▽教頭・江六前正文(滝沢村柳沢中教頭から)▽教諭・高橋健(北上中から)

◆湯田中学校

【転出】▽教頭・安藤雅博(花巻北中教頭へ)▽教諭・鈴木俊逸(江釣子中へ)【転入】▽教頭・斎藤三男(洋野町大和中教頭から)▽教諭・柿沢香織(和賀東中から)

◆給食共同調理場

【転入】▽栄養職員・小澤理恵(奥州市水沢区中給食センターから)【退職】▽栄養職員・佐々木繁子

◆西和賀高校

【転出】▽教諭・塚田美和子(花巻北高校へ)▽教諭・木村愛(北上翔南高校へ)▽講師・尾形哲明(紫波総合高校へ)▽講師・梅木浩幸(宮古商業高校へ)▽講師・小原孝太郎(種市高校へ)▽養護教諭・中下玲子(県教委スポーツ健康課へ)

▽事務長・佐藤正幸(一戸高校へ)【転入】▽教諭・橋本真一(水沢高校から)▽教諭・田沼貴之(不来方高校から)▽教諭・島山賢(黒沢尻工業高校から)▽教諭・照井貴子(水沢高校から)▽講師・工藤正美(在家庭から)▽講師・高橋美紀子(盛岡北高校から)▽養護助教諭・佐竹麻衣子(新採用)▽事務長・野場麗司(久慈養護学校から)

【退職】

教諭・小原敬

◆北上川ダム管理統合管理事務所

【転出】▽管理係長・山中彰人(秋田河川国道事務所へ)【転入】▽管理係長・高岡善明(胆沢ダム工事事務所から)

◆県南広域振興局北上総合支局

【転出】▽所長・小野寺一美(千厩土木センターへ)▽主任・遠藤晃(北上総合支局土木部へ)【転入】▽所長・紺野清一(千厩土木センターから)

◆北上警察署沢内駐在所

【転出】▽所長・佐藤勝(水沢警察署常盤交番へ)【転入】▽所長・武田清幸(北上警察署警務課から)

◆中央農業改良普及センター

西和賀普及センター

【転出】▽所長・横島克廣(軽米普及センター所長へ)▽主任・農業普及員・中野俊成(岩手県農業大学校講師へ)【転入】▽所長・八重樫誠次(宮古農業改良普及センター普及課長から)

◆湯田上級森林事務所、新町森林事務所と川舟森林事務所では異動がありません

ことしの雪は昨年の半分

除雪費は

2800万円の減

昨年からことしにかけての積雪深は、昨年の半分以下になりました。

町では、町内の2か所で積雪量を冬期間、独自に調査しています。これらの数字をみると、沢内地区の方が若干雪が多かったとは言え、いずれも数十年ぶりに雪の少ない冬になりました。

また、ことしの除雪費用も昨年と比べると除雪作業員の賃金が昨年のおよそ6100万円から5000万円、1100万円の減、除雪車の燃料費にいたっては昨年のおよそ3300万円から1600万円と1700万円の減となりました。作業員賃金と燃料費だけを昨年と比べてもおよそ2800万円の減額になりました。

【湯田観測地点 表1】

今年の積雪深は3月13日の90cmが最高で、降り始めからの降雪量を足したところ698cmでした。

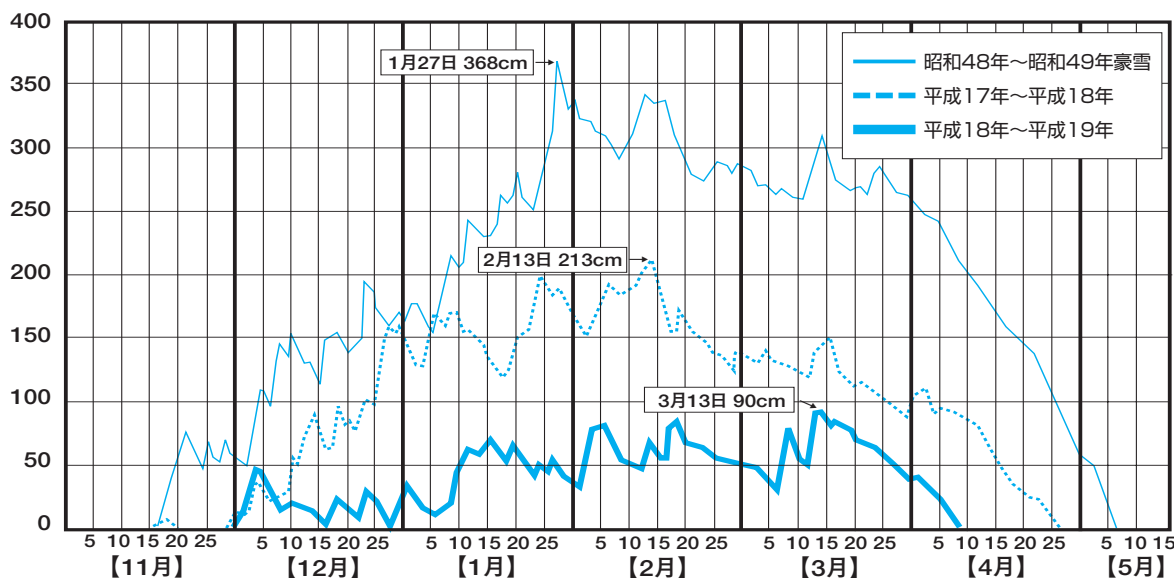
観測データのある昭和39年以降を調べると、少ない順に昭和53年から54年にかけての最高積雪深86cm（降雪量499cm）に次ぐ雪の少ない年となりました。

【沢内観測地点 表2】

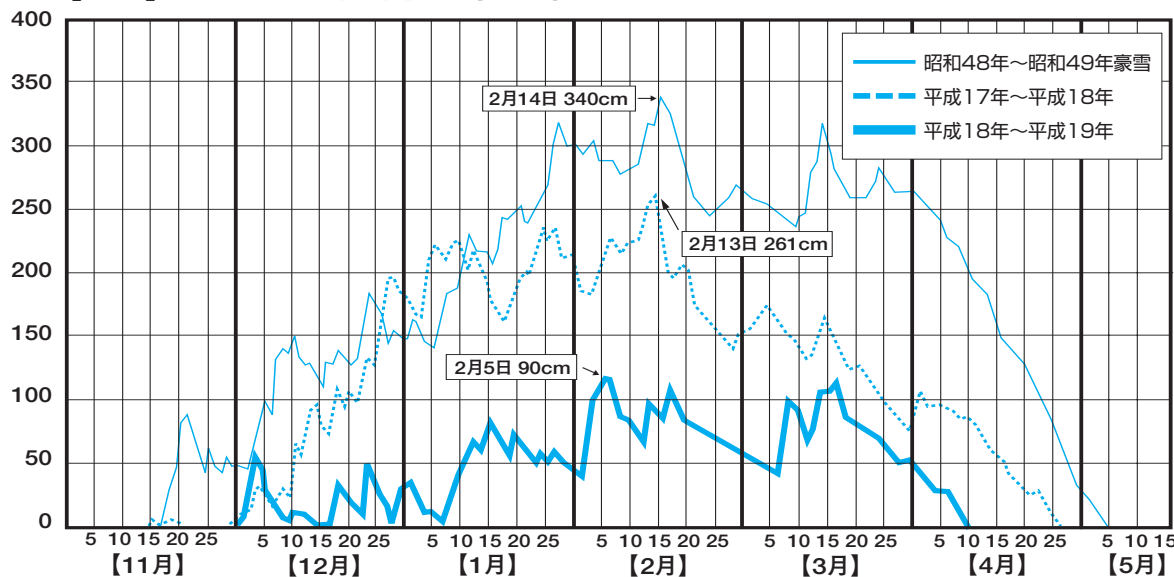
今年の積雪深は2月5日の118cmが最高で、降り始めからの降雪量を足したところ922cmでした。

観測データのある昭和39年以降を調べると、少ない順に昭和53年から54年にかけての最高積雪深100cm（降雪量552cm）、昭和63年から平成元年にかけての最高積雪深102cm（降雪量629cm）、昭和46年から47年最高積雪深110cm（降雪量600cm）に次ぐ雪の少ない年となりました。

【表1】 湯田積雪量調査（川尻）



【表2】 沢内積雪量調査（太田）



積雪量調査

湯田観測点は湯田庁舎付近、また沢内観測地点は沢内庁舎付近で調査しています。そのため、町内でも地域により積雪量が大きく違います。問合先／企画課 ☎823284

行政区長と地域担当職員の紹介

町では、昨年から行政と地域が対等な立場で責任を共有し役割を明確にしながらまちづくりを進めていく地域自治活動支援事業を創設しました。この事業は「地域づくり活動支援交付金制度（昨年までは地域自治活動支援交付金制度）」と「地域担当職員制度」の2つを柱として、地域ごとに異なる課題を人的・資金的な面から支援することとしています。

数地区で区長が変わり4月の人事異動で地区担当職員も変わりましたのでお知らせします。
(名簿は平成19年4月1日現在・敬称略)

行政区	人口	世帯数	区長	担当職員名			
				主担当		副担当	
貝沢区	304	87	多田 隆次郎	建設課	藤原 光記	農林課	高橋 三智昭
若畑区	266	73	藤原 輝夫	農林課	野中 孝勇	保健福祉課	吉田 博樹
川舟区	536	167	中川 昭彦	農業委員会	和泉 昭	保健福祉課	吉田 祐康
長瀬野区	288	83	高橋 久男	建設課	米澤 清人	生涯学習課	高橋 光世
泉沢区	238	77	平澤 安保	農林課	内記 和彦	企画課	加藤 真喜子
弁天区	125	32	高橋 幸一	生活環境課	泉川 道浩	生活環境課	北島 克人
猿橋区	265	87	佐々木 博	病院事務室	佐々木 一	総務課	深澤 早苗
太田区	362	117	深澤 廣見	税務課	高橋 健司	生涯学習課	東 清彦
鍵飯区	129	35	柿澤 亮	企画課	高橋 智昭	税務課	川本 陽子
前郷区	387	99	高橋 正信	保健福祉課	深澤 千里	病院事務室	内記 良伸
新町区	472	144	佐藤 政信	出納室	高橋 義雄	保健福祉課	為田 美代子
大野区	182	53	泉川 助五郎	保健福祉課	内記 忠	行革推進室	畠山 幸雄
東大野区	170	45	羽柴 盛人	監査委員事務局	内記 博悦	農業委員会	泉川 真澄
左草区	153	48	佐々木 静夫	学務課	藤原 利雄	税務課	宇都宮 清美
下前区	137	37	佐藤 清一	農林課	佐藤 幸弘	学務課	高橋 茂和
湯田区	634	202	高橋 祐一	総合サービス課	竹沢 清一	観光商工課	佐藤 里美子
湯本区	401	178	山崎 行夫	議会事務局	平藤 節夫	企画課	小林 英介
槻沢区	139	42	南川 賢一	保健福祉課	柏崎 繁美	総務課	刈田 哲彦
湯之沢区	167	57	佐々木 忠平	観光商工課	高橋 達	病院事務室	小林 雅彦
川尻一区	239	104	高橋 重三	町民課	高橋 文一	生涯学習課	泉 恵子
川尻二区	446	167	高橋 成	生活環境課	高橋 勇一	建設課	東海林 智義
川尻三区	348	145	石川 洵	生涯学習課	新田 満	行革推進室	真壁 一男
耳取区	152	59	高橋 芳勝	総務課	高橋 智	保健福祉課	高橋 かの子
草井沢区	24	12	小田島 薫	学務課	山本 正子	企画課	小松 重貴
鷺之巣区	22	12	照井 廣男	建設課	高橋 典夫	企画課	柳沢 里美
湯川区	140	51	石澤 小一郎	建設課	高鷹 仁	農林課	高橋 千賀子
小繫沢区	128	44	高橋 徳幸	企画課	菅原 利明	建設課	佐藤 太郎
越中畑区	132	41	伊藤 清見	税務課	菊池 一治	総務課	照井 哲
白木野区	160	53	高橋 征一	生涯学習課	小原 茂喜	出納室	菅原 久美子
野々宿区	116	34	菅原 彰	町民課	米沢 典子	農業委員会	高橋 弘務
柳沢区	71	24	照井 哲男	観光商工課	高橋 巧	総合サービス課	田村 初子
合計	7,435	2,511	人口と世帯数は平成 19 年 3 月末です【総務課調べ】				



川に ごみを 捨てるな

私の家の近くに川があります。その川に、

最近ごみを捨てる人を見かけます。走って行つて注意をすれば良いのですが、いつ捨てに来るかもわからずなかなかその瞬間をとらえることもできません。

川は常に美しく流れていますが、心ない人が袋に入れたごみを車につんできて川に捨てる気持ちで、私にはわかりません。ぜひやめてほしいと思います。「和賀川の清流を守る会」や「自然保護パトロール隊」などもあるようですが、もう少しパトロールを強化しても良いのではないのでしょうか。

みなさんの水道源にもなる川です。川を汚さずみんなできれいにしましょう。

(二町民・男性)

回答

ごみを不法に捨てる人は、日常生活の中で不法投

棄を常習的に行ない、もはや悪意を感じることもすらないのかもしれませんが、不法投棄はれっきとした犯罪です。

町では、和賀川の清流を守る会や公衆衛生組合などの各種団体にも協力を依頼し、監視体制の強化を図っています。

また、不法投棄の通報があった場合は、投棄者の究明といった調査のほか、不法投棄に関する指導・処理などを警察や保健所とも連携して対応しています。

町内全域という広大な面積の中で不法投棄を未然に防ぐことは大変難しいことですが、一人ひとりが不法投棄に対して犯罪意識を持ち、各地区で監視体制の目をつくりあげることができれば、それが一番効果的ではないかと考えています。

美しい景観と自然豊かで衛生的な環境を次世代に引き継ぐためにも、みなさんと協力して不法投棄撲滅に取り組みたいと考えています。

情報提供を

不法投棄者を見かけた場合ですが、トラブル防止のため、直接投棄者に注意し

たりせず、投棄者を特定できる車両の特徴ナンバー・車種・色情報などを警察に通報するようにしてください。

不法投棄者への処罰

廃棄物の処理を適正に行わなかった場合には、法律により一般廃棄物の場合には5年以下の懲役か1000万円以下の罰金、また、産業廃棄物の場合にも同様に処罰されるほか、法人の場合には1億円以下の加重罪ともなります。「知らなかった」「これくらいなら大丈夫だろう」という安易な気持ちは許されません。(生活環境課)

新議員に願う

17日に町議会議員選挙の告示が行われた。

多くの立候補者が選挙に参戦し、政策やマニフェストを言い争う。有権者としては無投票に終わるよりも、さまざまな候補者の中から代表を選びたい。町議会議員選挙は、身近な選挙だけに政治や町政に参加しているという意識がいやが応でも高まる。合併後の西和賀町議会は、合併特

例法で旧町村の議員が全員継続在職したが、議会での発言などを聞いてみるとどうしても旧町村の枠をほみ出ず、旧態依然で一体感には乏しかった感がある。

今度の町議会選挙で当選した議員には、町の代表者として西和賀町すべての地域住民の代弁者としての自覚をもち、地域誘導にはならず、将来を見こし、本来町が進むべき道筋を見定めてほしいと切に希望する。

(二町民・男性・40歳代)

スキーを地域おこしの起爆剤に

4月7日から8日県中学校アルペンスキー新人戦が下倉スキー場で行われ沢内中から11人、湯田中から2人の選手が出場した。結果は男子総合で竹澤統己君(新町・3年)が大回転、回転ともに優勝。男子1年生の部で刈田雄平君(槻沢)が大回転優勝、回転2位。同女子の部で佐藤麻美さん(新町)が大回転2位、回転3位と大活躍した。

小さな町から13人が出場したことで、他市町村のスキー関係者からは「さすが

スキーが盛んな西和賀だ!!」などと絶賛され、実際、今シーズンもアルペン・クロカンとも町内の子どもたちがレベルの高い各種大会で好成績を残した。

アルペン全国小学生大会で羽柴麗君(樺沢)が優勝するなど、西和賀町の選手のレベルは非常に高く全国に通用する力を秘めている。町内選手のレベルアップにはめざましいものがあり、その子どもたちの活躍は、みなさんに勇気と希望を与えたように思う。

スキーは雪国ならではの競技である。まさに雪国西和賀でスキーは「文化」。町の財政が厳しいことは理解しているが、選手育成や体育施設にかかる予算は減らすことなく、むしろもっとスキー文化の継承に力を入れ、地域おこしの起爆剤にしてほしい。

わたしたちは来シーズン以降も「スキーは西和賀の文化である」という理念を基本に、町をあげて子どもたちが伸び伸びとスキー競技ができる環境をつくっていくように努めたい。

(西和賀町スキー協会員
東大野・刈田拓弥)

3月27日放送分

介護予防事業の概要



「元気なうちから始めよう！介護予防」を合言葉に、町では各種事業を行っています。介護予防とは高齢者が介護を必要とする状態になるのを防いだり、介護が必要になってもそれ以上悪化させないようにして、高齢者の自立を支援することです。

介護が必要となる原因は、老化に伴う衰弱、転倒によるけが、関節の病気、歯が抜けて思うように食べられなくなることによる栄養不足などがあります。これらは早めに対策をすることで予防できます。また、介護や支援を必要とする人も、介護予防を行うことで元気を取り戻したり、状態の悪化を防ぐことができます。

町では平成18年度から、基本健診に併せて、65歳以上の人を対象に生活機能の基本チェックを行いました。チェック項目は運動機能・栄養改善・口腔機能の低下・閉じこもり・認知症・うつ症状に分け、その結果をもとにそれぞれの人に合った介護プログラムを組み、介護予防に参加を促す事業を始めました。

その一環として、19年1月から母子健康センターと悠々館で月1回「介護予防いきいき教室」を行っています。教室では運動機能の向上は理学療法士、栄養改善は栄養士、口腔機能の向上は歯科衛生士が担当します。また、閉じこもりやうつ症状の予防には保健師による訪問指導を行っています。

さらに、今年3月には一般高齢者を対象に、各公民館で介護予防の運動法や医師による認知症・生活習慣病についての学習会を行いました。介護予防事業の詳細は、役場保健福祉課にお問い合わせください。

いつまでも自分らしく元気な暮らしをするためには、生活習慣病予防に努め、障害や老化のサインを早めに発見し、対応していくことが重要です。

(保健福祉課保健師長 高橋美紀子)

3月6日放送分

肺炎の予防方法



予防とは文字どおり「予め防ぐ」という意味です。火災や犯罪など、予防するのが望ましいことはたくさんありますが、病気もその1つです。いったん病気になると、体が弱って働けなくなり、医療費もたくさんかかって大変なことになります。ですから、全ての病気を予防できれば理想的なのですが、現実にはそうはいかないので、私たちのような医師や看護師、医療機関が必要とされています。

今回は病気予防の中でも肺炎予防の説明をします。肺炎は肺の中に水がたまり、呼吸が困難になって高熱を発する苦しい病気です。たいていの場合風邪をこじらせて肺炎になります。また、誤嚥性肺炎^{ごえん}といって、食べ物が気管に入って起こる肺炎もあり、高齢者に多く見られます。

かつて肺炎にはこれといった予防方法がありません

でしたが、4～5年前から肺炎を予防するための「肺炎球菌ワクチン」が広く使われるようになりました。このワクチンは1970年代にアメリカで開発され、日本では昭和63年に認可されました。初めのうちは全国で年間数人が接種をする程度でしたが、平成13年ころから新聞やテレビで紹介されて広く知られるように

なり、接種をする人が増えました。また、抗生物質が効きにくい耐性菌による肺炎にも有効であるため、多くの医療機関で使われるようになりました。

このワクチンを接種すれば、肺炎の半数ぐらいは予防できるといわれています。65歳以上の方は接種を受けるようおすすめします。接種を希望する人は、事前に医療機関に予約してください。

新聞の慶弔欄を見ると、肺炎で亡くなる人が10人中1人が2人ぐらいいり、しかもその数は年々増え続けています。ですから、ぜひ肺炎球菌ワクチンの接種をして、肺炎を予防するよう心がけてください。

(沢内病院医師 久保利夫)

※久保先生は3月31日退職しました

有線放送から



有線で放送した「くらしと健康」
から抜粋しお知らせします

ふるさと 故郷

埼玉県鷺宮町出身

高橋祐征さん（新町）

⑫



県では新人となる祐征さんだが、各自治体からの質問にきばきと答えます（市町村課で）

就職にあたって考えた事は、何よりどこで働きたいかということでした。そこで最初に頭に浮かんだのが、両親の出身地である西和賀町（沢内村）だったというわけです。

？出身地はどこなところですか

鷺宮町は昔は近所に田んぼもあつてのどかでしたが、自分が離れてからは近代化が進み、マンションも増えて、現在は都市部のベッドタウンになっているようですね。

？名所や観光スポットなど

関東で一番古い神社の鷺宮神社があります。そこで行われる催馬楽神楽は国の重要無形民俗文化財に指定されています。

？西和賀町の良さ

自然の豊かなところと町民のみなさんの温かさです。今は西和賀町から離れていますが、帰るたびにほっとします。

？あなたの出身地を教えてください

埼玉県です。出生地は上福岡市、現在の家は鷺宮町です。ちなみに上福岡市は福岡県にあると勘違いされますが埼玉県です。上福岡市は、日本で一番人口密度が高かった時期もあります。平成17年10月に大井町と合併しふじみ野市になりました。

？西和賀町に住むようになった理由



鷺宮町データ（平成18年1月1日現在）
人口 34,436人
世帯数 12,054世帯
面積 13.9km²
ホームページ
<http://www.town.washimiya.saitama.jp/index.htm>

おじゃまします 事業所訪問

④

（有）岩手プロント

■紹介者

工場長 高橋郁夫さん（新町）



（有）岩手プロント（本社・埼玉県三郷市）は町内に2か所の工場をもち紳士用と婦人用の革靴と靴底を専門に製造しています。従業員は両工場28人。

高橋工場長は「昭和63年に前郷地区で民家の作業場の2階部分を間借りして靴の甲を作ったのが始まり。そのうち靴底も作るようになり、生産量も増加したことから平成5年に新町地区に工場を新築し現在にいたります。今では、完成品状態として出荷しています」と話します。オリンピックで日本選手団の履く革靴もずいぶん作ったそうです。高橋工場長は「とにかく靴さえ作ればいいや、どうでもいいやという気持ちでは製造していませんよ」と、この年月が信用ある製品を出荷したと話しています。



こんなことをしています

④

（ボランティア・サークルなどを紹介するコーナーです）

こんぺいとう

■紹介者 代表

梅川明美さん（川尻）



平成16年秋ころ活動を開始。ことから代表に就任した梅川さん。「川尻小で読書ボランティアをしています。現在は毎週火曜日午後4時に集まって活動しています。会員はPTAが4人と地域の方が1人です。時にはお父さんにも手伝ってもらっています。」

「読んで話す梅川さん。私たちの反応がとても楽しみです。面白い、つまらないなどの反応があつて、次は頑張るぞ、という気持ちになります」。会の悩みは会員が少ないこと、「できれば地域の方が加わり、昔話やいろいろな事を教えてもらいたいですね」と話していました。



地産地消の あすめ

(加工グループなどを
紹介するコーナーです)

母親が昔きやつこ餅(か
ゆっこ餅)を作っていたの
で、自分でも作ってみまし
た。昔はこの家でも作っ
たものです。
そのうち販売
しないかと声
をかけられ、

冬の間だまってるよりも、
お客さんのお土産にもでき
るし、孫に何か一つでも買
ってやりたいという気持ち
もあって「かゆっこ餅」と
して平成7年ころから出荷
するようになりました。
うる米ともち米でおかゆ
を作るようにして水が無く
なるまで炊きます。そして
へらでつぶし、一口大にし
て凍らせます。味付けは砂
糖と塩です。簡単だけどマ
イナスの寒さで作業するの
が難儀ですね。寒中にスト
ーブも焚かずに作業しない



お父さんと息子さん

？きっかけは



■紹介者
代表 高橋光子さん
(新町)

？どうやって作るのですか

かゆっこ餅生産組合

？おいしく食べるには

かゆっこ餅はそのままでも
いいですが、焼いても油
で揚げてもおいしいです
よ。今はお菓子も買えるし、
物もあまるほどあります。
でもかゆっこ餅は雪国なら
ではの食べ物だと思ってい
ます。

？絵の楽しさは何ですか

教室では油絵の基礎など
を学びました。習い始めの
ころは心に思う色を出せな
くて何度も書き直し、キャ
ンバスを汚くしたもので



お父さんと息子さん

？個展を開いたそうですね
4年前に湯田町商工会の
音頭で個展を開き、その時
の芳名帳は一番の宝物で
す。これからも感謝の気持
ちを忘れずに、少しずつで
も描き続けたいですね。

芸術・文化を楽しんで

(西和賀町芸術文化協会の所属団体を紹介するコーナーです) ④

ぶどう座

■紹介者
代表 田中直樹さん(川尻)



？きっかけ

現在ぶどう座を主宰する川村光夫さん(川尻)
が中心になってぶどう座を昭和25年に創立しま
した。わたしは、川村さんの代表作の「うたよ
みざる」をみて、芝居に興味を持ち、昭和57年
ころに入りました。

？演劇のおもしろさは

みんなで共同して一つの作品を作り上げるこ
とですね。ぶどう座の座員は10人ほどで、一人
で何でもしないとイケない。大変だけど、逆に
何でもすることも面白さのひとつですね。

？稽古はどんな感じですか

一つの芝居を仕上げるのに2から3か月ほど時
間が必要です。また、稽古は仕事が終わってか
らなので夜遅くまでやります。現在のメイン公
演は毎年銀河ホールで行われている地域演劇祭
で、そろそろ練習を始めます。

！ぶどう座の方言のこだわり

川村作品は、方言を大事にし、地域の問題や
言葉も含めてそれを演劇にしていけるので、方言
は切り離せません。

！町に一つの劇団

町に劇団があることは
良いことで、なかつたら
さびしいので、なるべく
無くしたくないと思っ
ています。劇をやったこ
とがない人でも大歓迎です。



趣味で 人生を 豊かに

④

？きっかけはなんですか

今から30年ほど前、町の
教育委員会から絵画教室に
参加のお誘いをうけまし
た。絵は好きでしたが、家
庭にいと時間をとれない
とあきらめていました。で
も家族の理解もあり2年間
教室に通い、それ以来はこ
つこつと年に数点を描いて
います。

？何を描いていますか

？最初は人物を描いていま
した。人物画は皮膚の感じ
を描くのが難しいですね。
最近風景で、気に入った
風景はその場でスケッチし
て、自宅で描きます。心に
残る風景は描きやすいで
す。



心に思う色を再現
油絵に魅せられ
はるの
高橋春野さん
(上野々)

？絵を描くときは、集中
しないと色がきれいにで
ません。仕事の時も食事の時
も、色の事ばかり考え、そ
れつ、とキャンバスに向か
います。時には、集中し
すぎて気が付くと夜が明けて
いたときもあります。文化
祭に出品するのも楽しみの
ひとつです。やっぱり褒め
られるとうれしいですね。

？個展を開いたそうですね

4年前に湯田町商工会の
音頭で個展を開き、その時
の芳名帳は一番の宝物で
す。これからも感謝の気持
ちを忘れずに、少しずつで
も描き続けたいですね。



き研修科 ☎0197-43-2107

年金制度改正が行われます

平成16年の年金制度改正でことし4月1日から、年金制度の一部が変わります。

1. 70歳以上で会社に勤めている場合には、老齢厚生年金の全額または一部の額が支給停止になる場合があります
2. 65歳時点で年金を受ける必要のない方は老齢厚生年金を66歳以降に増額して受けられます
3. 遺族厚生年金制度が見直されました
4. 離婚時の厚生年金の分割制度導入
5. 本人の申出で年金を受け取らないことができます
6. 国民年金のことしの保険料月額14,100円です

問合せ先／年金被保険者の方は ☎0570-05-1165、年金を受けている方は ☎0570-07-1165、または花巻社会保険事務所 ☎0198-23-3351
ホームページ／

<http://www.sia.go.jp/>

そのほか**錦秋湖マラソン出店者を募集**

錦秋湖マラソン当日の会場に出店を希望する方や団体・企業は、会場設営やトラブルを未然に防ぐために事前に申し込む必要があります。当日は一切受付しないので、希望する方は5月10日（木）までにマラソン事務局で手続きをしてください。

なお、会場の関係から出店希望者が多い場合は、事務局側で調整することがあります。

問合せ先／錦秋湖マラソン実行委員会事務局（観光商工課内）
☎82-3290

焼地台公園の営業を開始

焼地台公園は今月28日（土）から今シーズンの営業を開始します。オープン記念として28日は

ジャンボスライダーを無料開放します。営業期間は4月～10月までで営業日は土日祝日ですが、ゴールデンウィークや夏休み期間中は平日でも営業します（ただし雨天休業です）

問合せ先／西和賀産業公社 ☎82-2211

カタクリの会自然観察会参加者募集

カタクリの会（瀬川強会長）では、次のとおり夏の渡り鳥自然観察会を行います。参加する方は事前に電話で申し込みが必要です。

日時／5月20日（日）9:00～15:00

観察地／白木峠

持ち物／筆記用具、昼食、雨具、水筒

その他／野外活動に適した服装で参加して下さい。参加費用は400円、参加定員は20人なのでお早めにお申し込みください

問合せ先／カタクリの会 ☎82-3601

山伏線のダイヤ改正を行います

岩手県交通（株）では、5月1日から路線バス（山伏線）の運行時刻を次のとおり変更します。今回の改正は、往路、復路の各1本が平日のみ又は、土日・祝祭日のみの運行となります。路線バスを利用される際は、4月25日に全戸配布した時刻表で確認のうえ、ご利用ください。

山伏線の変更内容

※下の表の色つきの部分が変更になります。

◆山伏線（平日）

西和賀→盛岡		盛岡→西和賀	
湯本温泉発	盛岡BC着	盛岡BC発	湯本温泉着
6:35	8:44	10:15	12:22
9:45	11:54	13:25	15:32
12:45	14:54	16:25	18:32

◆山伏線（土日祝日）

西和賀→盛岡		盛岡→西和賀	
湯本温泉発	盛岡BC着	盛岡BC発	湯本温泉着
6:35	8:44	8:25	10:32
9:45	11:54	13:25	15:32
14:15	16:24	16:25	18:32

問合せ先／岩手県交通（株）湯本バスターミナル ☎84-2311

戸籍の窓（敬称略）

3月17日～4月15日受付分

※掲載を希望しない事も出来ます。届け出の際にお申し付けください。

**お悔やみ申し上げます**

原 子 ト ヨ・86歳・湯本
刈 田 壽・91歳・耳取
吉 田 稔・62歳・太田
照 井 キ ク・82歳・川舟
野 中 フ ミ・81歳・芦ヶ沢
高 橋 ツ ナ・85歳・川舟
阿 部 與五郎・81歳・湯本
石 井 芳 穂・77歳・湯川
柏 崎 邦 ヤ・91歳・川舟
藤 原 邦 三・77歳・湯之沢
中 村 新三郎・79歳・川舟
北 島 正・81歳・両沢
柳 澤 隆 悦・76歳・新町
愛 親・81歳・桂子沢

**ご誕生おめでとうございます**

高 橋 結 海・男・純・弁天
佐々木 春 優・女・泰孝・前郷
高 橋 汰 紅・男・北斗・岡木野

**末永くお幸せに**

高 橋 悟 北上市
菅 原 奈保子 川尻
高 橋 伸 前郷
吉 田 早希子 川舟

住民の動き

（3月末現在）

項 目	実 数	前月との比較
転 入	22	—
転 出	63	—
出 生	1	—
死 亡	14	—
人 口	7,435	▲54
男	3,497	▲25
女	3,938	▲29
世帯数	2,511	▲13

交通事故の状況

（3月分）

	物損	負傷	人身	死亡	飲酒
実数	12	7	3	0	0
累計	(49)	(13)	(7)	(0)	(0)

（ ）は1月からの累計

火災・救急の状況

（3月分）

■火災	
区分	火災出場件数
件数	1件 (1件)
■救急	
区分	救急出場件数
件数	23件 (73件)

区分	交通	急病	その他	合計
件数	3件 (10件)	14件 (36件)	6件 (27件)	23件 (73件)
搬送人員	5人 (14人)	12人 (28人)	6人 (25人)	44人 (67人)

（ ）は1月からの累計



役場から

湯田庁舎宿直代行者募集

町は、平成19年6月から湯田庁舎の宿直業務を代行する方を次のとおり募集します。

業務内容／湯田庁舎の「庁舎・備品などの保全、外部との連絡、庁舎監視」などの宿直業務

従事期間／平成19年6月1日～平成20年3月31日まで

応募書類／申請書(総務課で配布)、履歴書

応募資格／昭和12年4月2日以降生まれ(今年度70歳まで)で健康に自信のある方

応募締切／5月2日(水)

問合せ先／総務課 ☎82-3281

6月1日は商業統計調査

6月1日、商業統計調査が全国一斉に行われます。卸売業、小売業を営むすべての事業所が対象になります。

5月下旬から調査員が各事業所にお伺いしますのでご協力をお願いします。

問合せ先／企画課 ☎82-3284

土地家屋縦覧帳簿を公開

固定資産税は、毎年1月1日現在で所有している土地や家屋などの資産に課せられる税金です。町では、地方税法に基づき納税者が他の土地や家屋を比べることで、自分の資産の価格が適正かどうか判断する資料として固定資産税土地家屋縦覧帳簿を公開しています。

公開期間／5月31日(木)まで(土日祝祭日を除く)

公開時間／8:30～17:00

公開場所／税務課と総合サービス課

問合せ先／税務課 ☎85-3414

軽自動車税の減免制度

軽自動車税は4月1日現在の使用者または所有者に課税される税金です。身体に障害のある

方は申請することで減免になる場合があります。

◆対象の軽自動車など◆

① 障害者が所有(登録)し本人が運転する車両②障害者または生計を同一にする者が所有(登録)し、障害者のために使用する車両③車両の構造がもっぱら身体障害者などの利用に供するための車両④公益法人が所有し、公益のために直接専用するものと認める車両など(複数車両可)

◆申請に必要な書類◆

提出書類／①軽自動車税減免申請書(税務課または総合サービス課窓口にあります。)②身体障害者手帳③自動車運転免許証④印鑑⑤納税通知書⑥法人の場合は定款の写しと使用実績書

提出期限／納期限の7日前(5月25日までに)

提出先／税務課または総合サービス課

問合せ先／税務課 ☎85-3414

植樹祭ボランティア参加者募集

今年の北上・和賀地区植樹祭は西和賀町で行われます。この植樹祭は自然愛護少年団など青少年教育の場としての森林の活用促進を図るとともに、森林づくり運動推進のための普及啓発を目的として行われます。

これに伴い、町では植樹を手伝ってくれるボランティアによる参加者を募集しています。どなたでも参加できます。植樹祭に参加してみませんか。

日時／5月17日(木) 10:00～12:00

会場／貝沢小学校グラウンド前
※雨具などをご持参ください。

問合せ先／農林課 ☎85-3415

医療従事者免許は役場に

今まで、保健所で行っていた免許申請・書換えなどの受付が、4月から役場でも行えるようになりました。これは、岩手県から町に免許申請・書換えの

事務が移譲されたためです。

申請ができる免許は『厚生労働大臣』が交付する「医師・歯科医師・看護師・保健師・助産師・理学療法士・作業療法士・歯科技工士・診療放射線技師・臨床検査技師・衛生検査技師・視能訓練士・薬剤師・管理栄養士」です。

問合せ先／保健福祉課 ☎85-3411

60歳代検診受検者を募集

本年度の62歳と63歳の60歳代検診で、受検者数が当初の予定人数に達しなかったため、今回に限り対象者枠を拡大し、受検希望者を再度募集します。

受検を希望する方は早めにご連絡ください。

検診日時／4月～平成20年2月までの毎週火・水曜日(祝祭日を除く)です。

場所／沢内病院

対象者／ことし4月1日現在で60から64歳の方(昨年度この検診を受けた方は受検できません)

募集人数／申し込みは随時行いますが、先着50名まで

料金／男性6,440円、女性7,440円

検診内容／基礎検査(血液検査、心電図など)、腹部超音波検査、がん検診、歯科健診、骨密度測定、肺機能検査、医師の診察・結果説明、健康教育など

申込先・問合せ先／沢内病院健康推進室 ☎85-3131

国や県から

花きセンターまつり

岩手県立農業大学校では、岩手県立花きセンターの展示実証栽培の公開や新品種の紹介を行うため、次の日程で花きセンターまつりを行います。

日時／4月28日(土) 10:00～16:00

場所／岩手県立花きセンター(金ヶ崎町六原頭無2-1)

内容／洋ラン講座、切り花の即売、花づくり相談

問合せ先／岩手県立農業大学校花

文化財を訪ねて

(町内の文化財を紹介するコーナーです)

■ミズバショウ (杵天地区・小鍵沢) …④ こかぎ



撮影8平成19年4月18日



早春を告げるサトイモ科ミズバショウ属のミズバショウ。
沢内村で昭和55年7月1日に天然記念物に指定しました。蛭山から鍵沢にむかう小鍵沢に群生しているほか、貝沢や峠山などにも群生しています。
純白の部分は花びらではなく、ぶつえんぼう仏炎苞と呼ばれています。仏炎苞の中にある棒状のものが、いわゆる花です。
当地方では、ミズバショウを牛の小舌、オオバとも呼び、花粉に触ると手が焼ける、熟した実はクマが好んで食べるなどと伝えられています。

マイホームアイドル



なかし
誉くん (1歳)

若畑 まさる
中里 克さん
広美さん

両親から
「結婚8年目で授かりました。元気で素直に育ってほしいなあ〜」



あいり
藍梨ちゃん (1歳)

前郷 こうよう
内記 孝洋さん
瞳さん

両親から
「笑顔のたえない明るく元気な子に育ってね」

てにをは

今回は越中畑小、沢内中、湯田中、そして西和賀高校の入学式を見てきました。どの児童や生徒もすがすがしく、春の息吹きを感じてきました。
(小林)